

授業グレードアップ! Vol. 5

"音読"を取り入れて内容理解アップ! ~小学5年「沖縄県の暮らし」~

なぜ、音読か

教科書等の文章をすらすら音読することができれば、内容理解がしやすくなります。しかし、今の学校現場で文章をすらすら音読できない子どもは少なくありません。中学年3・4年生から国語で学ぶ難語句が増え、さらに、新出漢字も200字と増加するので、学年が進むにつれて音読が難しくなっているようです。この傾向は、専門的な語句が登場する社会科や理科などの教科で顕著に現れてきます。

そこで、国語科だけでなく社会科の授業においても教科書の学習内容を理解させるための手段の一つとして、音読を取り入れてみましょう。



教科書をどう音読させるか

社会科の教科書には専門的な語句が登場します。従って、教科書を音読させて、内容理解を図る手立てが必要になります。以下、小学5年「沖縄県の暮らし」を例に、単元導入時における音読の工夫について述べていきます。

① 一文ごとに教師が範読し連れ読みをさせ、読み方を確認させます。

② 一人読みと作業をさせます。

大切な所や言葉に線を引きながら、もう一度読みなさい。

※ 難しい言葉があれば辞書を引かせたり、説明したりします。

③ 問題を出して内容の確認を行います。

- ・ 沖縄県は日本のどこにありますか。
- ・ 沖縄県の冬の気温は何度くらいですか。
- ・ 沖縄県では、雨は何月にたくさん降りますか。
- ・ 沖縄県では、どんな農産物の生産がさかんですか。

※ 読み取りができていれば、すべて分かります。



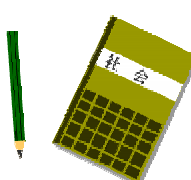
④ 問題の答えを発表させ、根拠となる文章を全員で音読させます。

※ 沖縄の特色のキーワードが明確になります。

⑤ 次のような指示をして、音読した教科書の情報を整理させます。

沖縄県の特色は 。

に入る言葉をできるだけたくさん
書きなさい。



- ・ 沖縄県の特色は、一年中あたたかい。
- ・ 沖縄県の特色は、台風がよく来る。
- ・ 沖縄県の特色は、雨が多い。など



※ 子どもたちは、教科書を何度も読み、大切な所に線が引いてあるので沖縄県の特色について書き出しやすくなります。

教科書をいつ音読させるか

〈単元の導入において〉

上記の例のように、単元の導入段階で音読を取り入れることで、単元の概要や社会的事象の特色等を捉えさせることができます。これが単元の基礎知識となり、その後の授業を効果的に進めていくことができます。

〈1 単位時間の授業において〉

1 単位時間の授業の中で、必要に応じて学習範囲を音読させることで、本時の学習内容を概観させたり、大切な事柄を捉えさせたりすることができます。

〈単元のまとめにおいて〉

単元のまとめにおいて音読を取り入れることで、単元の学習を振り返り、学習内容の定着を図ることができます。

**教科書の音読を効果的に取り入れて、
内容理解の向上・定着を図りましょう！**

